

この作品は、2014年に奈良の興隆寺で発見された。これは、奈良時代の彫刻家によって作られた。この作品は、興隆寺の国宝であり、その彫刻技術は、日本の彫刻史上に重要な地位を占めている。この作品は、興隆寺の国宝であり、その彫刻技術は、日本の彫刻史上に重要な地位を占めている。

- 作風の制作手順
1. 素材の選定と準備
 2. 彫刻の設計と彫削
 3. 彫削の完了と仕上げ
 4. 彫削の完了と仕上げ
 5. 彫削の完了と仕上げ
 6. 彫削の完了と仕上げ

制作工程のイメージ



興隆寺 国宝「月見菩薩」の複製品（複製：Scroll Saw Art）



和紙がおいしく見える木皿

和紙がおいしく見える木皿の作り方



和紙がおいしく見える木皿の作り方

和紙がおいしく見える木皿の作り方

和紙がおいしく見える木皿の作り方



小枝を使って一緒にクラフトしよう
「きせかえアンドン」

自然に親んでもらうために、木の枝を使って、比較的簡単に「世界に一つの物作り」を楽しんでもらおうと考えたものです。

「きせかえアンドン」

木の板に、柱を4本立てて枠組みを作り、中に和紙を箱型に入れて入れます。
この和紙を貼る中箱が出し入れが出来るようにしてあり、簡単に着せ替えます。
お好みの和紙を季節や場所に合わせて使うことができ、愉しくアンドンを使えます。
中にはロウソクや豆電球を入れて灯りとします。

